

公 表

# 自己評価結果報告書

— 児童発達支援・放課後等デイサービス —

公表日 2026年4月30日

対象期間 令和7年度（令和7年5月～令和8年3月）

**児童発達支援・放課後等デイサービス「にこたむ」三好丘旭校**

運営：株式会社セムイウェル

所在地：〒470-0203 愛知県みよし市三好丘旭 3-1-3（東海医療工学専門学校 敷地内）

電話：0561-59-6361

## 1. はじめに

本報告書は、児童発達支援・放課後等デイサービスを提供する事業者に求められている、保護者の皆様および従業者による「自己評価」の結果を取りまとめ、公表するものです。「はい・いいえ」の集計結果の公表自体が目的ではなく、評価を通じて事業所の課題を把握・分析し、支援の質の向上に継続的につなげていくことを重視しています。

評価結果と利用者さまからの貴重なご意見を真摯に受け止め、より安心して通っていただける事業所づくりに取り組んでまいります。

## 2. 実施概要

事業所名	児童発達支援・放課後等デイサービス「にこたむ」三好丘旭校
運営法人	株式会社セムイウェル
所在地	〒470-0203 愛知県みよし市三好丘旭 3-1-3（東海医療工学専門学校敷地内）
アンケート実施期間	令和8年4月1日～令和8年4月16日
保護者アンケート（児童発達支援）	配布 29 件 / 回答 17 件 / 回収率 58.6%
保護者アンケート（放課後等デイサービス）	配布 9 件 / 回答 6 件 / 回収率 66.7%
従業者自己評価（児童発達支援）	有効回答 6 名
従業者自己評価（放課後等デイサービス）	有効回答 6 名

### 3. 保護者等からの評価結果

※ 表中の数字は回答件数を示します。「割合」欄は「はい」と回答された方の割合（％）です。

#### 3-1. 児童発達支援（n=17）

質問項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	「はい」割合
<b>環境・体制整備</b>					
(1) こどもの活動等のスペースは十分に確保されているか	14	3	0	0	82.4%
(2) 職員の配置数は適切であるか	17	0	0	0	100.0%
(3) 生活空間は構造化された環境になっているか／バリアフリー化等への配慮	14	3	0	0	82.4%
(4) 生活空間は清潔で心地よい環境か／活動に合わせた空間か	16	1	0	0	94.1%
<b>適切な支援の提供</b>					
(5) こどもの特性に応じた専門性のある支援が受けられているか	15	1	1	0	88.2%
(6) 公表している支援プログラムが提供内容と合っているか	15	1	1	0	88.2%
(7) ニーズや課題が客観的に分析され児童発達支援計画が作成されているか	13	3	1	0	76.5%
(8) 児童発達支援計画に必要な項目が適切に設定されているか	15	1	1	0	88.2%
(9) 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	15	2	0	0	88.2%
(10) 活動プログラムが固定化されないよう工夫されているか	13	1	1	2	76.5%
(11) 保育所・幼稚園等との交流や地域での活動機会があるか	5	1	5	6	29.4%
<b>保護者への説明等</b>					
(12) 運営規程・支援プログラム・利用者負担等の丁寧な説明があったか	16	1	0	0	94.1%
(13) 「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか	17	0	0	0	100.0%
(14) 家族支援プログラムや家族向け研修会等が行われているか	10	0	6	1	58.8%
(15) 日頃から状況を伝え合い、健康・発達状況の共通理解ができているか	14	3	0	0	82.4%

質問項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	「はい」割合
(16) 定期的に面談や子育てに関する助言等の支援が行われているか	13	2	1	1	76.5%
(17) 職員から共感的に支援をされているか	13	4	0	0	76.5%
(18) 保護者同士・きょうだい同士の交流機会等の家族支援がされているか	4	1	7	5	23.5%
(19) 相談・申入れに対する対応体制が整備され迅速適切に対応されているか	12	1	1	3	70.6%
(20) こども・保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	13	2	2	0	76.5%
(21) 通信・HP・SNS等で情報や自己評価結果が発信されているか	9	2	2	4	52.9%
(22) 個人情報の取扱いに十分留意されているか	13	2	1	1	76.5%
<b>非常時等の対応</b>					
(23) 各種マニュアル策定・周知説明・訓練が実施されているか	9	1	0	7	52.9%
(24) 非常災害発生に備え定期的に避難訓練等が行われているか	7	1	1	8	41.2%
(25) 安全確保のための計画について周知され安全確保が行われているか	12	3	0	2	70.6%
(26) 事故等発生時の速やかな連絡・状況説明がなされているか	13	1	0	3	76.5%
<b>満足度</b>					
(27) こどもは安心感をもって通所しているか	14	3	0	0	82.4%
(28) こどもは通所を楽しみにしているか	15	2	0	0	88.2%
(29) 事業所の支援に満足しているか	13	3	1	0	76.5%

## 保護者からの主なご意見（児童発達支援）

【施設環境】 とても綺麗で、入ってすぐに手洗いがあり、感染症対策がきちんとされています。

【保護者への説明等】 出入口に個人名が書かれたファイルが置いてある事があり、個人情報について不安に思う事があった。

### 3-2. 放課後等デイサービス (n=6)

質問項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	「はい」割合
<b>環境・体制整備</b>					
(1) こどもの活動等のスペースは十分に確保されているか	5	1	0	0	83.3%
(2) 職員の配置数は適切であるか	4	1	0	1	66.7%
(3) 生活空間は構造化された環境になっているか／バリアフリー化等への配慮	5	0	0	1	83.3%
(4) 生活空間は清潔で心地よい環境か／活動に合わせた空間か	6	0	0	0	100.0%
<b>適切な支援の提供</b>					
(5) こどもの特性に応じた専門性のある支援が受けられているか	5	0	0	1	83.3%
(6) 公表している支援プログラムが提供内容と合っているか	6	0	0	0	100.0%
(7) ニーズや課題が客観的に分析され放デイ計画が作成されているか	6	0	0	0	100.0%
(8) 放デイ計画に必要な項目が適切に設定されているか	5	0	0	1	83.3%
(9) 放デイ計画に沿った支援が行われているか	6	0	0	0	100.0%
(10) 活動プログラムが固定化されないよう工夫されているか	5	1	0	0	83.3%
(11) 放課後児童クラブ・児童館との交流や地域での活動機会があるか	1	0	2	3	16.7%
<b>保護者への説明等</b>					
(12) 運営規程・支援プログラム・利用者負担等の丁寧な説明があったか	6	0	0	0	100.0%
(13) 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか	6	0	0	0	100.0%
(14) 家族支援プログラムや家族向け研修会等が行われているか	3	0	0	3	50.0%
(15) 日頃から状況を伝え合い、健康・発達状況の共通理解ができているか	5	0	0	1	83.3%
(16) 定期的に面談や子育てに関する助言等の支援が行われているか	5	0	1	0	83.3%
(17) 職員から共感的に支援をされているか	6	0	0	0	100.0%
(18) 保護者同士・きょうだい同士の交流機会等の家族支援がされているか	2	0	3	1	33.3%

質問項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	「はい」割合
(19) 相談・申入れに対する対応体制が整備され迅速適切に対応されているか	5	0	0	1	83.3%
(20) こども・保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	5	0	0	1	83.3%
(21) 通信・HP・SNS等で情報や自己評価結果が発信されているか	3	1	0	2	50.0%
(22) 個人情報の取扱いに十分留意されているか	4	0	1	1	66.7%
<b>非常時等の対応</b>					
(23) 各種マニュアル策定・周知説明・訓練が実施されているか	4	0	0	2	66.7%
(24) 非常災害発生に備え定期的に避難訓練等が行われているか	3	0	0	3	50.0%
(25) 安全確保のための計画について周知され安全確保が行われているか	4	0	0	2	66.7%
(26) 事故等発生時の速やかな連絡・状況説明がなされているか	4	0	0	2	66.7%
<b>満足度</b>					
(27) こどもは安心感をもって通所しているか	5	1	0	0	83.3%
(28) こどもは通所を楽しみにしているか	4	1	0	1	66.7%
(29) 事業所の支援に満足しているか	6	0	0	0	100.0%

## 保護者からの主なご意見（放課後等デイサービス）

【保護者への説明等】 にこたむペイによる引き落としの通知がありましたが、詳細がわからないため困ります。

【総合】 いつもありがとうございます。子どもも楽しそうに通っています。帰りの迎えの時や連絡帳で詳しくその日の様子を教えてくださいありがとうございます。安心して通わせてもらっています。

## 4. 従業者による自己評価結果

### 4-1. 児童発達支援（n=6）

質問項目	はい	いいえ	わからない	「はい」割合
<b>環境・体制整備</b>				
1. 利用定員と発達支援室等のスペースの関係	6	0	0	100.0%
2. 利用定員やこどもの状態に対する職員配置数	4	2	0	66.7%
3. 構造化された環境／バリアフリー化等の配慮	4	2	0	66.7%
4. 清潔で心地よい環境／活動に合わせた空間	6	0	0	100.0%
5. 個別の部屋や場所を使用できる環境	6	0	0	100.0%
<b>業務改善</b>				
6. PDCA サイクルへの職員参画	5	1	0	83.3%
7. 保護者向け評価表による意向把握と業務改善	6	0	0	100.0%
8. 職員の意見把握と業務改善	6	0	0	100.0%
9. 第三者による外部評価	3	3	0	50.0%
10. 研修受講機会の確保	5	1	0	83.3%
11. 支援プログラムの作成・公表	5	1	0	83.3%
<b>適切な支援の提供</b>				
12. アセスメントを適切に行い児童発達支援計画作成	6	0	0	100.0%
13. 児童発達支援計画作成時の職員間共通理解	6	0	0	100.0%
14. 児童発達支援計画の職員間共有・計画に沿った支援	6	0	0	100.0%
15. フォーマル/インフォーマルなアセスメントの確認	4	2	0	66.7%
16. 児童発達支援計画の項目設定	6	0	0	100.0%
17. 活動プログラムをチームで立案	6	0	0	100.0%
18. 活動プログラムが固定化しない工夫	6	0	0	100.0%
19. 個別活動と集団活動の組み合わせ	6	0	0	100.0%
20. 支援開始前の職員間打合せ	5	1	0	83.3%
21. 支援終了後の振り返り・気付き共有	5	1	0	83.3%
22. 日々の支援記録の徹底	6	0	0	100.0%
23. 定期モニタリングと計画見直し	6	0	0	100.0%
<b>関係機関や保護者との連携</b>				
24. サービス担当者会議への参画	5	1	0	83.3%
25. 関係機関と連携した支援体制	4	2	0	66.7%

質問項目	はい	いいえ	わからない	「はい」割合
26. インクルージョン推進・併行利用への支援	5	1	0	83.3%
27. 就学時の小学校等との情報共有・相互理解	4	2	0	66.7%
31. 児童発達支援センターとの連携・スーパーバイズ	3	1	2	50.0%
32. 保育所・幼稚園等との交流／地域での活動機会	1	5	0	16.7%
33. 日頃から保護者と状況を伝え合い共通理解	6	0	0	100.0%
34. 家族支援プログラム・家族向け研修等	1	4	1	16.7%
<b>保護者への説明等</b>				
35. 運営規程・支援プログラム等の丁寧な説明	5	1	0	83.3%
36. 児童発達支援計画作成時の意向確認	5	1	0	83.3%
37. 児童発達支援計画の同意取得	5	1	0	83.3%
38. 定期的な相談対応・面談・助言	5	1	0	83.3%
39. 父母の会・保護者会等の支援／きょうだい交流	0	6	0	0.0%
40. 相談・申入れへの迅速適切な対応体制	5	1	0	83.3%
41. 通信・HP・SNS 等での情報発信	3	2	1	50.0%
42. 個人情報の取扱いに十分留意	6	0	0	100.0%
43. 意思疎通・情報伝達のための配慮	6	0	0	100.0%
44. 地域住民を招く等地域に開かれた事業運営	1	4	1	16.7%
<b>非常時等の対応</b>				
45. 各種マニュアル策定・周知・訓練実施	5	1	0	83.3%
46. BCP 策定・避難訓練等の実施	6	0	0	100.0%
47. 服薬・予防接種等の事前確認	4	2	0	66.7%
48. 食物アレルギーへの医師指示書に基づく対応	3	2	1	50.0%
49. 安全計画作成・安全管理研修等	5	1	0	83.3%
50. 安全計画に基づく取組内容の家族等への周知	3	3	0	50.0%
51. ヒヤリハットの共有と再発防止検討	6	0	0	100.0%
52. 虐待防止のための職員研修等	6	0	0	100.0%
53. 身体拘束に関する組織的決定・説明・記載	5	1	0	83.3%

## 従業者からの主なご意見（児童発達支援）

### 【環境・体制整備】 2. 利用定員やこどもの状態に対する職員配置数

- ・ 曜日や時間帯によっては職員が足りないと感じる
- ・ 個別サポートや気持ちが不安定な児童がいた場合、対応が難しいと思います

## 4-2. 放課後等デイサービス (n=6)

質問項目	はい	いいえ	わからない	「はい」割合
<b>環境・体制整備</b>				
1. 利用定員と発達支援室等のスペースの関係	6	0	0	100.0%
2. 職員の配置数は適切か	4	2	0	66.7%
3. 構造化された環境／バリアフリー化等の配慮	4	2	0	66.7%
4. 清潔で心地よい環境／活動に合わせた空間	6	0	0	100.0%
5. 個別の部屋や場所を使用できる環境	6	0	0	100.0%
<b>業務改善</b>				
6. PDCA サイクルへの職員参画	5	1	0	83.3%
7. 保護者向け評価表による意向把握と業務改善	5	1	0	83.3%
8. 職員の意見把握と業務改善	6	0	0	100.0%
9. 第三者による外部評価	2	3	1	33.3%
10. 研修受講機会の確保	4	2	0	66.7%
11. 支援プログラムの作成・公表	6	0	0	100.0%
<b>適切な支援の提供</b>				
12. アセスメントを適切に行い放デイ計画作成	6	0	0	100.0%
13. 放デイ計画作成時の職員間共通理解	6	0	0	100.0%
14. 放デイ計画の職員間共有・計画に沿った支援	6	0	0	100.0%
15. フォーマル/インフォーマルなアセスメントの確認	5	1	0	83.3%
16. 放デイ計画の項目設定	5	1	0	83.3%
17. 活動プログラムをチームで立案	6	0	0	100.0%
18. 活動プログラムが固定化しない工夫	6	0	0	100.0%
19. 個別活動と集団活動の組み合わせ	6	0	0	100.0%
20. 支援開始前の職員間打合せ	5	1	0	83.3%
21. 支援終了後の振り返り・気付き共有	4	2	0	66.7%
22. 日々の支援記録の徹底	6	0	0	100.0%
23. 定期モニタリングと計画見直し	6	0	0	100.0%
24. ガイドラインの「4つの基本活動」を組み合わせた支援	5	1	0	83.3%
25. こどもの自己選択・自己決定を育てる支援	5	1	0	83.3%
<b>関係機関や保護者との連携</b>				
26. サービス担当者会議への参画	5	1	0	83.3%
27. 関係機関と連携した支援体制	2	4	0	33.3%

質問項目	はい	いいえ	わからない	「はい」割合
28. 学校との情報共有・連絡調整	2	4	0	33.3%
29. 就学前事業所等との情報共有・相互理解	2	4	0	33.3%
30. 卒業後の障害福祉サービス等への移行支援情報提供	1	3	2	16.7%
31. 児童発達支援センターとの連携・スーパーバイズ	4	2	0	66.7%
32. 放課後児童クラブ・児童館等との交流／地域活動機会	0	6	0	0.0%
33. (自立支援) 協議会等への積極的参加	0	6	0	0.0%
34. 日頃から保護者と状況を伝え合い共通理解	6	0	0	100.0%
35. 家族支援プログラム・家族向け研修等	2	4	0	33.3%
<b>保護者への説明等</b>				
36. 運営規程・支援プログラム等の丁寧な説明	5	1	0	83.3%
37. 放デイ計画作成時の意向確認	6	0	0	100.0%
38. 放デイ計画の同意取得	5	1	0	83.3%
39. 子育ての悩み等への相談対応・面談・助言	6	0	0	100.0%
40. 父母の会・保護者会等の支援／きょうだい交流	0	6	0	0.0%
41. 苦情への迅速適切な対応体制	6	0	0	100.0%
42. 通信・HP・SNS等での情報発信	3	3	0	50.0%
43. 個人情報の取扱いに十分留意	6	0	0	100.0%
44. 意思疎通・情報伝達のための配慮	6	0	0	100.0%
45. 地域住民を招く等地域に開かれた事業運営	0	6	0	0.0%
<b>非常時等の対応</b>				
46. 各種マニュアル策定・周知・訓練実施	6	0	0	100.0%
47. BCP 策定・避難訓練等の実施	5	1	0	83.3%
48. 服薬・予防接種等の事前確認	4	2	0	66.7%
49. 食物アレルギーへの医師指示書に基づく対応	2	3	1	33.3%
50. 安全計画作成・安全管理研修等	6	0	0	100.0%
51. 安全計画に基づく取組内容の家族等への周知	5	1	0	83.3%
52. ヒヤリハットの共有と再発防止検討	6	0	0	100.0%
53. 虐待防止のための職員研修等	6	0	0	100.0%
54. 身体拘束に関する組織的決定・説明・記載	6	0	0	100.0%

## 従業者からの主なご意見（放課後等デイサービス）

### 【環境・体制整備】 2. 職員の配置数は適切か

- ・ 曜日や時間帯によっては職員が足りないと感じる
- ・ 個別サポートや気持ちが不安定な児童がいた場合、対応が難しいと思います

## 5. 自己評価の総括（強み・課題の分析）

保護者評価と職員自己評価の結果を突き合わせ、両者が共通して評価している点／課題と認識している点を中心に整理しました。

### ■ 事業所の「強み」（さらに強化・充実を図る点）

#### 1. 個別支援計画に基づく専門的・きめ細やかな支援

児発・放デイともに「個別支援計画を示しながらの説明」「計画に沿った支援」「特性に応じた専門性のある支援」が、保護者評価・職員評価のいずれでも高く評価されています（保護者 90～100%）。言語聴覚士（ST）の常駐や、医療系専門学校（東海医療工学専門学校）を母体とする多職種連携体制が、計画的かつ専門的な支援の基盤となっていると考えられます。

#### 2. 清潔で安心して過ごせる施設環境と適切な職員配置

「生活空間の清潔さ・心地よさ」「職員の配置数」について、保護者・職員ともに高い評価が得られています（児発の職員配置は保護者 100%）。「とても綺麗で、入ってすぐに手洗いがあり、感染症対策がきちんとされている」というご意見もいただいております、衛生管理が徹底できている点は強みです。

#### 3. 運営規程・支援内容の丁寧な説明と、保護者との日々のコミュニケーション

契約時の運営規程・支援プログラム・利用者負担等の説明（児発 94%/放デイ 100%）、計画を示しながらの支援内容説明（児発・放デイともに 100%）が高く評価されています。送迎時や連絡帳を通じた日々の様子の共有について「安心して通わせてもらっています」というお声もいただいております、ご家族との連携は本事業所の大切な強みです。

#### 4. チームで取り組む活動プログラムと振り返り

職員評価では「活動プログラムをチームで立案」「固定化しない工夫」「個別活動と集団活動の組み合わせ」「日々の支援記録」「定期モニタリング」がいずれも 100%「はい」となっており、チームによる PDCA が機能していることが示されています。

#### 5. 個人情報の取扱いとマニュアル整備

職員評価では「個人情報の取扱いに十分留意」「ヒヤリハットの共有」「虐待防止のための研修」がすべて 100%。マニュアル類の策定・職員研修は確実に実行されています。

### ■ 事業所の「弱み・課題」（改善が必要だと思われる点）

#### 1. 地域・他機関との交流機会の不足

保護者・職員の双方で最も低い評価となった項目です。

・保育所・幼稚園等/放課後児童クラブ・児童館との交流：保護者評価 児発 29%・放デイ 17%/職員評価 児発 17%・放デイ 0%

・地域住民を招くなど地域に開かれた事業運営：職員評価 児発 17%・放デイ 0%

インクルージョン推進の観点からも、地域との接点づくりは継続課題です。

## 2. 家族支援プログラム／保護者・きょうだい交流の機会

・家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）：保護者 児発 59%・放デイ 50%/職員 児発 17%・放デイ 33%

・保護者会・きょうだい交流：保護者 児発 24%・放デイ 33%/職員 児発・放デイともに 0%

保護者・職員ともに「実施できていない」との認識が一致しており、優先的に取り組むべき課題です。

## 3. 非常災害訓練・安全管理に関する保護者への周知不足

非常災害訓練について「わからない」との回答が多く（児発 8/17 名、放デイ 3/6 名）、訓練そのものは実施されていても、保護者へ十分に伝わっていない可能性があります。職員評価でも「安全計画に基づく取組内容の家族等への周知」は児発 50%にとどまります。

## 4. 通信・HP・SNS 等を通じた情報発信

「定期的な情報発信」について保護者「はい」率は児発 53%・放デイ 50%、職員評価でも児発 50%・放デイ 50%。発信頻度・内容の充実が両者から指摘されています。

## 5. 第三者による外部評価・関係機関との連携体制

職員評価で「第三者による外部評価」「関係機関との連携体制」「学校・就学前事業所等との情報共有」「自立支援協議会等への参加」が低位にとどまります。特に放デイでは学校との情報共有・連絡調整が 33%と、改善の余地が大きい項目です。

## 6. 保護者からの個別具体的なご指摘への対応

・「出入口に個人名が書かれたファイルが置いてある事があり、個人情報について不安に思う事があった」（児発）

・「にこたむペイによる引き落としの通知がありましたが、詳細がわからないため困ります」（放デイ）

個別に頂戴した貴重なご意見であり、運用面の見直しが必要と認識しています。

## 7. 職員配置体制の強化（職員側からの課題認識）

職員自己評価では、児発・放デイともに「職員の配置数は適切か」が「はい」66.7%（はい 4・いいえ 2）となり、現場から具体的な課題の声が上がっています。

・「曜日や時間帯によっては職員が足りないと感じる」

・「個別サポートや気持ち不安定な児童がいた場合、対応が難しいと思います」

保護者評価では「職員の配置数」は児発 100%・放デイ 67%と高評価を得ており、現場の努力で支援の質を維持できていますが、特定の曜日・時間帯や個別対応が必要な場面では人員に余裕がない状況がうかがえます。支援の質を将来にわたって安定的に保つため、対応が必要な課題と認識しています。

## 6. 改善・充実に向けた今後の具体的な取組

上記の課題に対し、以下の取組を進めてまいります。実施時期はあくまで予定であり、進捗状況に応じて適宜見直してまいります。

### 取組 1：地域・他機関との交流機会の創出

- ・ 本事業所が令和 7 年 9 月より開始した保育所等訪問支援事業を活用し、お子さまが在籍する保育園・学校との連携をより一層深める。
- ・ 地域の自立支援協議会こども部会等への参加を検討し、地域連携体制の強化を図る。

### 取組 2：家族支援・保護者交流の充実

- ・ 定期的に保護者との家族支援の機会を設け、日々の困りごと、不安など、幅広く情報の収集に努めるとともに、日々の療育への反映を実施する、
- ・ 学校法人セムイ学園と連携した、専門職（言語聴覚士、作業療法士等）による保護者向けの講習会を開催するなど、保護者のニーズに合わせたイベント等を実施する。

### 取組 3：非常災害訓練・安全管理の保護者周知の徹底

- ・ 事故防止・緊急時対応・防犯・感染症対応の各マニュアルの概要、および安全計画の取組内容を、保護者向け資料として整備する。
- ・ 食物アレルギー対応について、医師の指示書に基づく対応手順を全職員で再確認し、書式・運用フローを整備する。

### 取組 4：情報発信の頻度・内容の充実

- ・ 事業所通信を随時発行し、活動の様子・行事予定・自己評価結果等を継続的に発信する。
- ・ ホームページの更新頻度を高め、療育の様子や事業所からのお知らせを充実させる。
- ・ 本自己評価結果報告書をホームページに掲載するとともに、WAM NET へ登録する。

### 取組 5：関係機関との連携強化（特に学校・他事業所）

- ・ 保育所・幼稚園・児童発達支援事業所等との情報共有を、児童発達支援管理責任者が中心となって実施する。
- ・ 本事業所が令和 7 年 9 月より開始した保育所等訪問支援事業を活用し、お子さまが在籍する保育園・学校との連携をより一層深める。

### 取組 6：個別にいただいたご意見への対応

- ・ 個人情報を含む書類の取扱いについて全職員で再確認し、利用者の目に触れる場所に氏名等が記載された書類を置かない運用を徹底する。改善策を職員ミーティングで決定し、運用を開始する。
- ・ 「にこたむペイ」による引き落としについては、通知時に明細・内訳の詳細が分かる書面を添付する運用へ改善する。

### 取組 7：職員配置体制の見直しと支援体制の強化

- ・ 個別サポートや気持ちが不安定な児童への対応に備え、複数職員で連携できる応援フローを整備する。リーダー職員によるバックアップ体制を職員間で共有する。
- ・ 上記の運用改善で対応しきれない場合に備え、追加職員の採用についても並行して検討を進める。
- ・ 現場職員の負担感や課題認識を継続的に把握するため、職員ミーティングでの意見交換を月 1 回以上実施する。次回の職員自己評価（令和 8 年度）で改善状況を確認する。

### 取組 8：業務改善体制の強化

- ・ 本評価結果を全職員で共有するミーティングを実施し、各取組の進捗を四半期ごとに確認する。
- ・ 研修受講機会のさらなる確保（外部研修・法人内研修）を計画的に進める。

## 7. おわりに

お忙しい中アンケートにご協力いただきました保護者の皆様、誠にありがとうございました。

いただいたご意見・ご指摘を真摯に受け止め、お子さまとご家族が安心して「にこにこ、たのしく」過ごせる事業所であり続けられるよう、職員一同で改善に取り組んでまいります。

今後ともご支援・ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

### 【問い合わせ先】

児童発達支援・放課後等デイサービス・保育所等訪問支援「にこたむ」三好丘旭校

所在地：〒470-0203 愛知県みよし市三好丘旭 3-1-3（東海医療工学専門学校 敷地内）

電話：0561-59-6361 / 運営：株式会社セムイウェル

公表日：2026 年 4 月 30 日